

介護保険

● 決算の基礎となった数値

- 介護保険第2号被保険者数6,614人
- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数4,431人
- 平均標準報酬月額507,176円
- 介護保険料率千分の9.0
- 事業主千分の4.5
- 被保険者千分の4.5

● 決算のあらまし

	科目	金額(千円)
収入	介護保険収入	318,581
	A 合計	318,581
支出	介護納付金	309,977
	介護保険料還付金	40
	B 合計	310,017
	収支差額: A-B	8,564

※決算残金処分として、8,564千円を法定準備金に積み立てました。

健康づくりを応援します!

平成20年度 保健事業計画のご案内

保健情報の提供

- 機関紙「北電健保からのお知らせ」の発行
予算決算案内や医療費削減PRを実施
- 医療費通知(毎月)
- 広報誌「けんぼビュー」の発行
健康保険制度について各種の情報を提供
- ホームページの運用
HPアドレス
<http://www.rikudenkenpo.jp>



体力づくり

- 契約スポーツ施設利用補助(随時)
富山県:6施設 石川県:3施設 福井県:2施設
- 健康ウォークへの参加費補助(随時)

心身の保養に

- 山中グループ保養所



病気の予防に

- 特定健康診査(4~1月)
40~74歳の被保険者(本人)および被扶養者(家族)全員に実施 ※受診料無料
- 特定保健指導(10~3月)
特定健康診査において対象となった被保険者および被扶養者に実施 ※利用料無料
- 人間ドックの費用補助(随時)
健保組合契約病院で実施
 - 日帰りコース 25,000~32,000円補助
 - 1泊2日コース 43,000~47,000円補助
 (補助金額は各支部単位により異なる)
- がん自己検診(8~2月)
郵送による検診を実施
肺がん、子宮がん、大腸がん、胃がん、前立腺がん
※検診料は1検診500円
- 婦人科検診(9~11月)
40歳以上の被保険者の希望者に実施
※検診料は1,000円
- インフルエンザ予防接種費用補助(11~2月)
一人1,000円を限度に補助
- 家庭常備薬の斡旋配付(11月)
- 電話メンタル健康相談(随時)
☎ 0120-922-473
- PET検診費用補助(随時)
30,000円を補助



健康保険

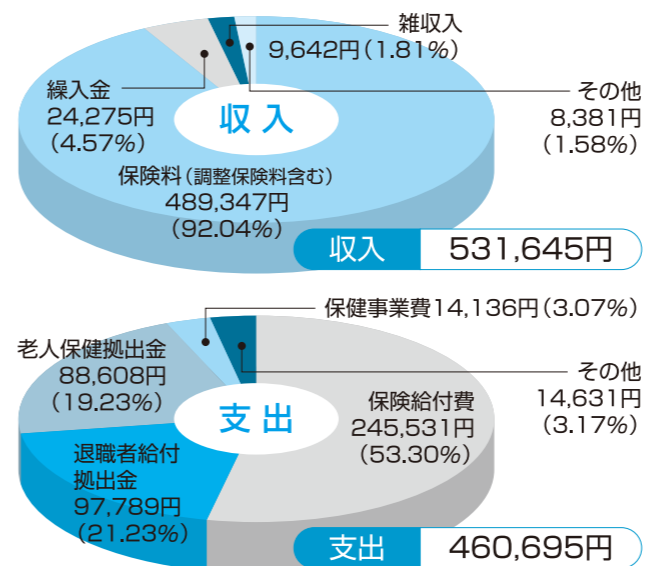
● 決算のあらまし

	科目	金額(千円)
収入	保険料(調整保険料含む)	4,031,733
	国庫負担金収入	1,975
	繰入金	200,000
	財政調整事業交付金	67,070
	雑収入	79,437
	A 合計	4,380,215
支出	事務費	49,812
	保険給付費	2,022,931
	法定給付費	1,986,632
	付加給付費	36,299
	老人保健拠出金	730,040
	退職者給付拠出金	805,687
	保健事業費	116,470
	還付金	677
	財政調整事業拠出金	67,226
	連合会費	2,122
	積立金	693
	その他	17
		B 合計
	収支差額: A-B	584,540

● 決算残金処分内訳

種別	金額(千円)
次年度繰越金	503,318
別途積立金	81,222
合計	584,540

● 被保険者1人当たりで見ると



● 決算の基礎となった数値

- 被保険者数8,239人
 - 男6,993人
 - 女1,246人
- 被扶養者数12,079人
 - 扶養率1.46人
 - 老人加入率4.47%
- 平均標準報酬月額 434,421円
 - 男467,646円
 - 女248,013円
- 平均年齢42.28歳
 - 男42.98歳
 - 女38.42歳
- 保険料率千分の72 (調整保険料率含む)
- 事業主千分の45
- 被保険者千分の27

北陸電力健康保険組合

平成19年度決算のご報告

黒字決算ながら 先行き不透明な 健保財政...



平成19年度の決算は、収入総額43億8,021万円、支出総額37億9,567万円、収支差引額は5億8,454万円となりました。

全国の健保組合の集まりである健康保険組合連合会が発表した平成20年度の健保組合の予算早期集計では、約9割の健保組合が赤字を計上しています。今年4月からスタートした新しい高齢者医療制度にかかる支援金等が大幅に増えたことが大きな要因となっており、当健保組合も高齢者医療を支えるための支出により財政が大きく圧迫され、平成20年度予算ベースでは

約3億3千万円の赤字を見込んでおります。

このような厳しい状況の中、みなさまの健康が今後の健保財政のカギを握ることになります。当健保組合では、今年度よりスタートしたメタボリックシンドローム対策に焦点をあてた「特定健診・特定保健指導」を含め、みなさまの健康管理に役立つさまざまな保健事業を実施しております。ご家族それぞれこれらの事業を有効に活用し、健康の維持・増進に努められますようお願いいたします。

北陸電力健保の特定健診・特定保健指導

特定健診・特定保健指導の実施にあたり、5年間の「実施計画」を策定いたしましたので、ここにその計画の一部を紹介します。

達成目標

特定健診の目標実施率

平成24年度における特定健診の実施率を88%とし、この目標を達成するために、平成20年度以降の実施率(目標)を以下のように定めます。

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
76.0%	80.0%	84.0%	86.0%	88.0%

特定保健指導の目標実施率

平成24年度における特定保健指導の実施率を52%とし、この目標を達成するために、平成20年度以降の実施率(目標)を以下のように定めます。

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
37.0%	41.0%	45.0%	49.0%	52.0%

メタボリックシンドローム該当者および予備群の減少率目標

平成24年度におけるメタボリックシンドローム該当者および予備群の割合を平成20年度と比べて10%減少させます。

特定健診の実施方法など

	一般被保険者(本人)	被扶養者(家族)および任意継続被保険者
実施場所・健診機関	会社の指定する健診場所	実施機関リストに案内 ▶基本的には市町村の健診を利用
受診方法	労働安全衛生法の健診として実施※1	受診券送付時に案内※2 ▶「保険証」と「受診券」を提示
受診費用	自己負担なし	自己負担なし(基本項目および詳細項目とも)

※1人間ドックを受診された場合は、健診結果の事業主への届出により、労働安全衛生法上の健診とみなされます。

※2-1パート先で労働安全衛生法上の健診を受診された方は、健診結果を当健保組合に提出してください。

※2-2当健保組合指定の人間ドック健診機関で、人間ドックに合わせて特定健診を受診される場合、受診券は必要ありません。

●健診結果は健保組合へ報告されます。 ※個人情報保護法の下、データ等は厳重に管理されます。

●特定健診の結果、特定保健指導が必要な方には、当健保組合から利用案内をお届けします。

メタボを放っておくと、こんなに危険!

メタボリックシンドローム

内臓脂肪の蓄積



脂質異常・高血圧・高血糖

動脈硬化

脳梗塞や心筋梗塞、糖尿病の合併症などの重大な病気に

後遺症などが残り、生活機能が低下。最悪の場合、命にかかわる病気になる恐れが…。



今年4月より

新しい健診と健康サポートが始まりました!

平成20年4月から、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)対策に重点をおいた新しい健診(特定健診)と健康サポート(特定保健指導)が40~74歳の被保険者(本人)と被扶養者(家族)の方を対象に始まりました。



特定健診の検査項目はメタボに関わりの深いものが中心に

診 察	質問票	●	血 糖	空腹時血糖	▲
	身長	●		ヘモグロビンA1c(HbA1c)	▲
	体重	●	貧血検査	ヘマトクリット値	■
	肥満度・標準体重	●		血色素測定	■
	腹囲	●		赤血球数	■
	身体診察	●	尿 検 査	尿蛋白	●
血圧	●	尿糖		●	
血中脂質	中性脂肪	●	心 機 能	12誘導心電図	■
	HDL-コレステロール	●		眼底検査	
	LDL-コレステロール	●			
肝 機 能	AST(GOT)	●			
	ALT(GPT)	●			
	γ-GT(γ-GTP)	●			

●……必須項目
■……医師の判断に基づき選択的に実施する項目
▲……いずれかの項目の実施でも可

保健指導の対象者はリスクに応じてグループ分け

STEP 1 内臓脂肪の蓄積に着目してリスクを判定

腹 囲

① 男性85cm以上、女性90cm以上 ② 男性85cm未満、90cm未満でもBMI^{*}25以上
※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

STEP 2 追加リスクをカウント

血 糖

空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1cが5.2%以上

脂 質

中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満

血 圧

収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

喫煙歴

あり

STEP 3 ステップ1・2(追加リスク数)から保健指導対象者をグループ分け

危険レベル 積極的支援

生活習慣改善のために目標を設定し、個別またはグループ面接および、電話やEメールなどで3か月以上にわたっての継続的な支援を行う。

注意レベル 動機付け支援

生活習慣改善のために目標を設定し、取り組んでいけるよう個別またはグループ面接を行う。

安心レベル 情報提供

生活習慣病に関する基本的な知識などの情報を提供する。

<注> ※服薬中の方は特定保健指導の対象にはなりません。 ※65~74歳の方は積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援となります。